



今年は猛暑の夏になりましたが、朝晩すっかり冷え込み、秋の深まりが感じられる季節となりました。

先月は、運動会が無事開催でき、子どもたちの頑張る姿を見ていただくことができました。ダンスやボール運びに全力で取り組む姿から、一人一人の成長を感じました。保護者の皆様にはたくさんのご声援を頂き、ありがとうございました。

11月は、音楽会、持久走大会の練習にも取り組みます。子どもたちはとても楽しみにしておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

11月の学習予定

国語：そうだんにのってください
紙コップ花火の作り方
にたいみのことは、はんたいのいみ
のことは
せかいーの話
かん字のひろば
みきのたからもの

算数：かけ算

図工：まどのあるたてもの

体育：多様な動きをつくる運動遊び（持久走）
鬼遊び

生活：町たんけんのまとめ
あそんで ためして くふうして

音楽：校内音楽会
山のポルカ

道徳：感謝、家族愛、家庭生活の充実、
親切、思いやり、希望と勇気、
努力と強い意志

くりかえしを見つけよう
いろいろながっきの音をさがそう
打楽器パーティー

特別活動：バランスのよい食事
忘れ物をなくそう



《お知らせとお願い》

○上着について

寒くなってきた、コートやジャンパーなどの上着の着用が見られるようになってきました。チャックは前を閉めるようにお声掛けください。また、ポケットに手を入れたまま歩いている児童も見られます。危険ですので、きちんと手を出すようご家庭でもご指導をお願いいたします。

○体育時の服装について

気温が低いときには、体操着の上から**上着、長ズボン**を着てもよいことになっています。
・上着・・・トレーナー（襟やフードやチャック・ボタンのついていないもの）
・長ズボン・・・（ジャージ素材であり、大きすぎないもの・チャックのついていないもの）
・靴下・・・膝下までのハイソックスや靴下（膝上のものやタイツは不可）

○かけ算九九カードの宿題が始まります！

11月の初め頃から、九九カードを使った宿題が始まります。上から、下から、バラバラの順に練習をしていきます。2学期に九九を確実に定着させたいと思っておりますので、ぜひご家庭のご協力をお願いします。

○生活科「あそんで ためして くふうして」の材料について

身近な廃材などを使っておもちゃをつくる活動です。牛乳パックやペットボトル、ペットボトルキャップ、トレー、プリンカップなどのご準備をお願いいたします。

各クラス連絡帳にて持ってくる日はお伝えいたします。記名をした袋に入れて持たせてください。

○リコーダーの注文について

3年生からリコーダーを使用します。購入申し込み案内を11/7(金)に配布いたします。

※11/8(土)にピロティにて見本を展示いたしますので、ご確認ください。

※リコーダーには名入れをします。申し込みの際に漢字などの間違いがないようにご注意ください。

持久走大会と音楽会があります！！

持久走大会に向けて、子どもたちはらんらんタイムや体育授業に意欲的に取り組んでいます。これからも健康と安全に留意し、走力向上に向けて練習に取り組んでいきたいと思っております。「**持久走大会**」についての詳細は**コドモンのお知らせ**で**ご確認ください**。

音楽会に向けての練習も始まっています。お子さんがどのような気持ちで練習に取り組んでいるのか、ぜひ話を聞いてみてください。鍵盤ハーモニカや特別楽器等、家庭で練習することがあると思います。

お子さんの伸びに目を向けながら、温かい声掛けをお願いします。「**音楽会**」についての詳細は**コドモンのお知らせ**で**ご確認ください**。

《購入教材等・口座振替のお知らせ》

第4回口座振替日 **11月10日(月)**

11月集金 **6,322円**（※別途 手数料が10円かかります。）

○校外学習 4,322円

○教材費 2,000円（※使用していない分は3学期に繰り越します。）

【購入品】

・かぶってへんしん
・A Tねん土
・八切画用紙

・漢字学習ノート 下
・団体競技用タオル
・九九カード



※今回は校外学習の費用を含むため、金額が大きくなっています。残高のご確認をお願いいたします。校外学習を欠席した児童は、教材費のみの集金になります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《2年生！ 青木っ子に非認知能力を育む 言葉かけチャレンジ》

① こんなとき、どうしますか？

ほめ言葉で思いつく言葉といえど何がありますか？「すごい」「えらい」などが多いと思います。

② POINT！

子どもの「いい情報」に気づいて、そのまま言葉にしてフィードバック！

③ 例えば

すごい／えらい

Change

大きくかけたね
色をいっぱい使っていたね

⇒子どもたちの行動を見たま言うだけなので言葉に困ることなく、本人にフィードバックすることができます。子どもを褒める・褒めないではなく、一人一人の「いい情報にどれだけ気づいてあげられるか」の目線を自分で育てることが大事です。

「子どもを肯定的に見る」→「いい情報に気づく」→「それをフィードバックする」という流れで、その都度その子に合わせて選んでみましょう。

「伝わる！声掛け変換」大場美鈴著 あさ出版